

◆巻頭言

[AI時代の作業療法](#)[—専門性を支える新たなパートナー—](#) 石岡 俊之 485

◆総説

[精神障害をもつ人の作業バランスに関するスコーピングレビュー](#) 東 ひなた・他 487

◆原著論文

[パラスポーツの学びが作業療法学生に及ぼす影響](#)[—障がい者観と作業療法の学びについてのインタビューを通じた予備的検討—](#)

. 中井 秀昭・他 495

[ヘッドマウントディスプレイを使用した運動イメージ時の脳波の機能的結合性の評価](#)

. 坂口 雄哉・他 504

◆実践報告

[急性期脳卒中後の半側空間無視患者に対する感覚刺激デバイスを用いた介入の効果](#)

. 山本 勝仁・他 513

[自傷行為に伴うSpaghetti wrist 事例における精神状態に合わせた目標設定を活用した](#)[作業療法の実践](#) 菊地 航平・他 522[医療観察法入院処遇者に対する技能プログラミングを用いた生活技能獲得に向けた](#)[作業療法介入](#) 山元 直道・他 529[精神科作業療法の治療構造からみた再入院予防に作用する要因](#)[—統合失調症者への支援を通じた探索的検討—](#) 野口 卓也・他 537[セルフモニタリングの視点を取り入れた作業中心の個別プログラムを通して](#)[新たな趣味を獲得し精神的健康の増進に寄与した1例](#) 萬家 夏生・他 545[生活介護事業所に通所する成人脳性麻痺者に対するユニバーサルフレームを用いた](#)[バランス練習の即時・長期効果と生活行為の変化](#)[—シングルケースデザインによる検討—](#) 河野 崇・他 552[脳卒中後の重度上肢機能障害に対しエビデンスを基盤とした](#)[複合的アプローチを行った一事例](#)[—発症早期から練習量を担保する工夫を行って—](#) 梶本 千愛・他 560[運動イメージの想起が難しい脳卒中上肢運動麻痺患者へのミラーセラピーの効果](#)[—2症例での検討—](#) 寺村 晃・他 568[JICA 海外協力隊の作業療法の要請傾向](#)

. 西村 大地・他 575

◆短報

[幼児期の自閉スペクトラム症児を支援する児童福祉領域の作業療法士の役割](#)[—テキストマイニングを用いた実態調査の分析—](#) 濱田 匠・他 583

編集後記

▶本号では、「作業」を通じた支援の力と、その広がりを改めて実感する実践が紹介されています。パラスポーツを通じた教育的な学び、JICA 活動における国際的な実践など、作業療法の可能性が領域を越えて展開されている内容が印象的でした。対象者の生活に寄り添いながら、作業療法が発展していく姿は、専門職としての誇りと責任を再認識させてくれます。

また、本誌のオープンアクセス化により、こうした知見が国内外の多様な読者に届くようになりました。教育・研究・臨床の領域を越えて、作業療法の価値が広く共有されることで、さらなる連携や発展が期待されます。本誌が、さらなる実践と知の架け橋となることを期待したいと思います。

(H・O)

▶今夏、戦後 80 年と子どもの平和学習をきっかけに鹿児島を旅してきた。「薩摩藩と明治維新」「戦争と平和」についてさまざまな展示物や語り部の話を聞くことで、当時の状況に思いを馳せ、先人たちの努力や思いの上に今の平和な日々があることを改めて感じた。現在に生きる我々は、先人が築いてくれた平和に感謝しつつ、自分のやるべきことに対してコツコツ丁寧に取り組み、社会に寄与していきたいという気持ちになった旅であった。そういった意味で日常を振り返ると、研究と論文発表は、重要な社会への寄与である。本号にもコツコツ積み重ねてきた成果として興味深い論文が並んでいる。ぜひご一読いただければと思う。

(S・T)